

や騒音、安全性が課題とされ国内での使用には不向き。日本人の体格にあった軽量型の装置が求められていた。

浜松市のオートレースに冠協賛

大成ロテック

大成ロテックは、2～4日の3日間にわたり浜松市中区の浜松オートレース場で開催されたバイクレースに協賛した。2011年にレース場内の走路の全面改修工事を施工したのをきっかけに、12年から「大成ロテック杯」として協賛している。5回目となる今回は、

優勝した鈴木選手（中央）と西田社長（左）



積極的に果敢な走りを見せた鈴木宏和選手（愛知県出身、31歳）が優勝した。

レースは浜松市が主催し、2～3日に予選、4日に優勝戦が行われた。鈴木選手が大成ロテック杯で勝利するのは初めてで、同社の西田義則社長から優勝力

ップと表彰状が贈られた。

国内にあるオートレース場は伊勢崎（群馬県伊勢崎市）、川口（埼玉県川口市）、浜松、山陽（山口県山陽小野田市）、飯塚（福岡県飯塚市）の5カ所。このうち同社は浜松と山陽の2カ所で走路を施工している。

11年に浜松オートレース場を全面改修した際には、表層の排水性舗装の下にマカダム層という排水層を設置。これにより、雨上がりの水はけが良くなり路面の乾くスピードが改善した。レースタイムにも好影響を与え、選手から高い評価を集めている。